

平成22年度活動報告

新規事業 [WEB美術教室・展覧会事業]

1. 実績報告書

(1) 雇用の推移と状況について

(緊急雇用対象者)

- ・平成21年12月7日に雇入した1名が平成22年6月30日に退職。
- ・平成21年12月26日に雇入した1名が平成22年5月31日に退職。
- ・平成22年4月20日に1名を新規に雇入し、現在継続雇用中。
- ・平成22年5月20日に雇入した1名が平成22年9月30日に退職。
- ・平成22年7月1日に1名を新規に雇入し、現在継続雇用中。

(パートタイマー職員)

- ・平成22年3月1日に雇入した1名が平成22年4月30日に退職。
- ・平成21年12月7日に2名を雇入し、現在継続雇用中。

(2) 事業の活動状況について

①雇用管理

平成21年度に緊急雇用対象者として雇入した3名が自己都合により退職したため、本年度中に新たに3名を緊急雇用対象者として雇入した。それぞれ美術指導や新規指導方法や展示、ICT能力も高く戦力化できた。

なお、総事業費に占める新規雇用者の人件費の割合は約58%となっている。

②指導用、補助者用、施設担当者向けマニュアル作成

フレームを組み立て、業務プロセス管理についてはドキュメントワークのチャートや指導コメントシステム案を作成したが、当初の雇入者の退職により遅延。ただし指導手順書を講座ごとに作成した。またICTの活用を目的とした幼児絵画教育ビデオを23年3月度に試作完成しさらに障がい者美術教育用にマニュアルを映像化したものを撮影製作中、継続して他の講座を受け持つ講師に依頼して企画している。

③派遣美術指導実施

こども、障がい者、高齢者施設など22施設にてプロの指導者や指導力のある職員による絵画や書、陶芸のほか幅広いジャンルの創作講座を100回余り実施した。(明細は別表を参照)。

受講者は延べ2,300名強になり、いずれも好評であったが、市の委託事業ということで有料化を前提とした施設へのアプローチは難しく、特に公立の保育園は講座継続希望があるが予算化の難しさにより無料講座を延長している。

ICT講座については現実的に受講者のニーズに沿わないところがあり、実施施設を市民交流プラザや公民館に場を置き換えて来期実施する予定である。

④作品発表

当事業のホームページを頻繁に改訂したことに加え、当委託事業専用ブログを開設し、講座受講者の発表を継続して行った。有料展示ページも開設した。また、受講者が講座中に作成した作品の実物展示を市民交流プラザや安佐南区民センターで実施した。

⑤施設開拓と今後の開講予定

広島市の協力により、私立幼稚園の会合でのPR、その後DMによる再度の連絡を実施したり、(財)介護労働安定センターとの連携による高齢者施設へのDMによるPR、また、広島国際会議場や市民交流プラザ、シルクプラザにおける市民活動や社会的事業活動の紹介コーナーでの出展普及活動を行った。残念ながら反応が少なく、個別施設に対し折衝を続けた。広島市のホームページと新規開設した当事業専用のブログのリンクが可能になり、今後の引き合いを期待している。

有料施設先の開拓が進まないため、来期は職員が新規に開発してこどもの美術教室で好評

をしている講座を加え、作りためた印刷物などをツールとして、私立保育園やこども施設、地域団体にアプローチする。その際障がい者施設については材料費以外の負担は強く求めない。

また、(財)ひとまちネットワークの協働事業募集に対し、ICTを活用した当美術教育の具体的な提案を行い、期末になって了解が得られたので、市民交流プラザを初めとする公民館などと話し合いを重ね各地で開催する予定である。

(3) 計画と実績について

期中の職員の交代などあって相対的にスケジュールの遅れがある。ICTを活用した美術教育の普及については、こども、障がい者、高齢者施設での展開、公民館などの施設の展開を実施する計画である。

有料で実施する施設の希望が少ないため収益計画との差異が大きく、最終年度(平成23年度)は初期の計画の3分の1程度の見込であるが、経費的にバランスをとりながら新規雇用者を継続的に雇用できるよう、本来のひろしまインターネット美術館の事業活動との相乗効果を強めビジネスモデルの構築をはかる。

以上